

新聞制作を体験！

1 ワークショップのねらい

(1) 新聞制作の目的, 指導内容について考える

目的: 読み手を引き付け, 情報を分かりやすく伝えること

大事にしたいこと: 文章を書くことに重点を置いた指導

指導のポイント: 読んでもらう相手や目的の持たせ方

見出しや記事の書き方

写真と記事の関係(補完)

新聞制作授業の単元構成と手順

内容と構成を練るための条件設定

(2) 実際に新聞制作を体験しながら, 教師の仕掛けや配慮点としての指導構成や準備, 指導のポイントについて学ぶ

2 内容

テーマ: 「運動会の思い出を新聞で伝えよう」

～写真と記事を入れた新聞をコンピュータで制作～

実施教科の想定: 国語科(社会科, 総合的な学習の時間など)

時間: 2時間

3 ワークショップの場面設定

(1) 相手意識と目的意識

新聞は, テーマを調査し, 取材したことを相手や目的に応じて発信する刊行物です。誰に, 何を伝えるための新聞なのか, 設定した相手や目的, 場面に応じて書く材料を選択し, 文章のまとめ方, 表現の工夫を指導する必要があります。そこで, 取材したことについての事実やメッセージを広く伝えるために, 相手の想定とテーマの設定が大切になってきます。

このワークショップでは, 一例として, 「運動会の思い出」を新聞の形にして伝える活動を行います。授業実践によって, 「○○の思い出」「○○の体験活動」「○○を見学して」など, 別のテーマに差し替えて制作することも可能です。また, 新聞制作の特徴である「撮影・取材」「割り付け」「記事の編集」「見出し付け」などがありますが, 今回は, 記事の練り合いに重きを置いているため, 「撮影・取材」「割り付け」に関しては, 割愛しています。新聞にとって「撮影・取材」「割り付け」は重要な作業の一つですので, 教師の意図によって適時, 指導を加えてもよいでしょう。

(2) 子どもたちに付けたい力

- 調べたことや取材したことを相手に伝わるように新聞に書き表す力
- 互いに書いた記事を読み合い, 編集する力

(3) 活動の時間設定と手順

児童の学習活動においては、以下の単元構成が一般的でしょう。

1. 情報発信をゴールの一つとして、課題設定と探究活動を行う
2. 取材してきたことから、伝える相手と内容を絞り込み、新聞の構成を練る
3. 新聞制作について理解する
4. 新聞を制作し、練り合いや編集を行う
5. 相手からの反応や意見をいただき、次への学習活動につなげる

このワークショップでは、新聞制作の指導についての理解を図るために、「知識・理解」「構想・作成」「発表・評価」の講義と演習を、以下の構成で実施していきます。

【全2時間】

1. 新聞制作の指導について、考えてみましょう(10分)
2. 課題を持って、活動の見通しを持ちましょう(10分)
3. 新聞の目的とコツを知り、新聞の内容を考えましょう(60分)
4. コンピュータを使って、新聞をつくりましょう(25分)
5. 評価をしましょう(10分)
6. まとめ(5分)

講義と演習部分の手順は、以下のようになります。

【1】〈新聞制作の指導について、考えてみましょう〉

- ① 本日のワークショップについて知る
- ② ワークショップのねらいを知る
- ③ 学習指導要領(国語科)での「新聞」の位置付けについて確認する
- ④ 新聞制作の指導の「落とし穴」について考える

【2】〈課題を持って、活動の見通しを持ちましょう〉

- ① ゴールのイメージを持つ
→新聞を完成することが目的ではない
練り合いや検討のよさを体験することが大事
- ② ワークショップの流れを知る
「大まかな記事内容の決定」→「写真の選択」→「中身の話し合い」→「発表」→
「個人で下書き」→「グループで検討」→「新聞制作(コンピュータ)」→「相互評価」→
「まとめ」

【3】〈新聞の目的とコツを知り、新聞の内容を考えましょう〉

※写真素材一覧, ワークシート～新聞記事を書くポイント～, 新聞原稿ワークシートを活用する

- ① 伝えたい相手を決め、写真を選択する
- ② 見出しを決める
- ③ 記事の中身について話し合う
- ④ 選択した写真と記事の内容について発表する
- ⑤ 個人で記事を書く
- ⑥ グループで記事を練り合う
- ⑦ キャプションを付ける

【4】〈コンピュータを使って、新聞をつくりましょう〉
※ソフトの操作についてはソフト取扱説明書を参照する

写真素材データをダウンロードする

- ① 選んだ写真を貼り付ける
 - ② 記事を入力する
 - ③ レイアウトや配色を考える
 - ④ 新聞名などを入れ、印刷する
- ※時間があれば、編集後記を書く

【5】〈評価をしましょう〉

※評価シートを活用する

- ① 相互評価の仕方を知る
- ② 相互評価を行う

【6】〈まとめ〉

- ① 教師の立場で見た活動の発表・評価や新聞制作の指導における仕掛けと配慮点のまとめを行う
- ② 新聞制作から考えられる学習課題を知る

4 準備

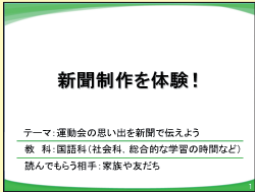
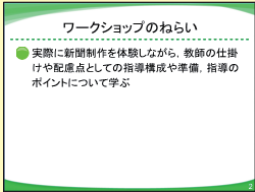
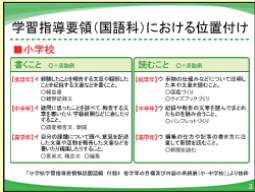
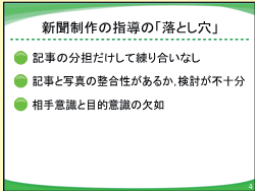
機器環境：複数人に1台のコンピュータ
使用ソフト：「キューブ新聞」
USBメモリー
プリンター

- 準備物：●参加者用ワークショップの手引き
- 提示用スライド
 - 新聞完成見本
 - 新聞テンプレートデータ
 - 写真素材一覧(サムネイル画像)
 - 写真素材データ
 - ワークシート ～新聞記事を書くポイント～
 - 新聞原稿ワークシート
 - 評価シート
 - 自己評価シート
 - ソフト取扱説明書
 - 筆記用具

5 ワークショップの流れ

新聞

「運動会の思い出を新聞で伝えよう」

時間	主な発問と参加者の主な活動	進行上のポイント
10分	<p>【1】新聞制作の指導について、考えてみましょう</p>	
	<p>「新聞制作の指導上の課題には、どんなことが挙げられるでしょうか。」</p>	<p>★ 教師の指導のポイントを明確にさせる</p>
	<p>① 本日のワークショップについて知る</p>  <p>[スライド1]</p>	<p>問題提示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ: 「運動会の思い出を新聞で伝えよう」 ・教科: 国語科(社会科, 総合的な学習の時間) ・読み手: 家族や友だち
	<p>② ワークショップのねらいを知る</p>  <p>[スライド2]</p>	<p>ワークショップのねらい ●</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の仕掛けと配慮点を体験しながら学ぶ
<p>③ 学習指導要領(国語科)での「新聞」の位置付けについて確認する</p>  <p>[スライド3]</p>	<p>学習指導要領(国語科)における位置付け ●</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」の領域 ・「読むこと」の領域 	
<p>④ 新聞制作の指導の「落とし穴」について考える</p>  <p>[スライド4]</p>	<p>新聞制作の指導の「落とし穴」 ●</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記事の分担だけして練り合いなし ● ・記事と写真の整合性があるか, 検討が不十分 ・相手意識と目的意識の欠如 	

留意点……赤字
配布物……青字

ねらいは、新聞の完成ではない。落とし穴の解決、教師の配慮点を学ぶことである。

2つの領域に「新聞」が位置づけられていることを押さえる。

交流する学習が少ない現状を伝えたい。